PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2026 年 10 月 7 日

世界 9 か国の JICA 留学生が奈良県十津川村へ

「自然と共生する観光と村づくり」を学ぶ！

独立行政法人国際協力機構（JICA）関西センターは、2026 年 10 月 14 日（水）から 10 月 16 日（金）までの 3 日間、奈良県十津川村において、関西の大学院で学ぶ 9 か国 10 名の JICA 留学生*を対象に、地域理解プログラム「奈良県十津川村から学ぶ自然と共生する観光、村づくり」を実施します。

人口減少や高齢化などの課題を抱える十津川村では、豊かな自然や歴史・文化資源を活かしながら、持続可能な観光と地域づくりに取り組んでいます。本プログラムでは、JICA 留学生が十津川村役場職員に加え、地域住民や地域で活動する方々との対話や、果無集落、空中の村、玉置神社等の視察を通じて、十津川村における様々な取組への理解を深めます。これらを通じて、地域資源を活かした観光振興や地域活性化、住民主体の地域づくりなど、持続可能な地域づくりの在り方について学びます。最終日には、プログラムを通じて得た学びや自国での応用可能性について発表し、十津川村役場職員や地域住民との意見交換を行います。

十津川村での地域理解プログラムは今回で 5 回目の実施となります。これまで参加した JICA 留学生による発表や提言は、十津川村の皆様にも関心を持って受け止められており、本プログラムが地域と留学生双方にとって学び合いの機会となることが期待されています。

参加予定の留学生は、エジプト、カザフスタン、コートジボワール、シリア、ブラジル、ブルキナファソ、ミャンマー（2 名）、リビア、ルワンダの 9 か国出身です。教育、防災、農業など様々な分野で実務経験を有しており、将来それぞれの国の発展を担うことが期待されています。

また、取材当日は JICA 留学生へのインタビューが可能です（通訳あり）。

ぜひ本プログラムの取材・報道をご検討ください。

*JICA 留学生：開発途上国から JICA の人材育成プログラムで来日し、日本の大学（修士課程あるいは博士課程）で学ぶ留学生。自国の行政官、研究者、民間企業出身者などバックグランドは様々ですが、将来国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材です。自身の専門の研究とともに、日本の近代化の歴史を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。

PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2026 年 10 月 7 日

■スケジュール

10 月 14 日 （水）	● 11:30-13:30 谷瀬の吊り橋、谷瀬集落の視察 ● 14:00-15:00 地域おこし協力隊の活動視察（旧川津小学校） ● 15:45-16:30 果無集落の視察
10 月 15 日 （木）	● 9:00-10:00 十津川村役場での講義 ● 11:00-12:30 瀞峡の視察 ● 13:15-17:00 空中の村の視察、講義
10 月 16 日 （金）	● 9:00-11:30 玉置神社の視察、 ● 13:00-15:30 十津川村役場での発表、ディスカッション

※交通手段は各自でご手配ください。

※悪天候等によりプログラムの内容を変更する場合がございます。

※取材申し込み：10 月 13 日（火）正午までに【本件に関する問い合わせ先】宛にお申し込みください。各行程の詳細な場所をお知らせします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 開発大学院連携課